

第17回「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」の開催について

当社（社長：一色 誠一）は、第17回「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

現在、東日本大震災を教訓として、我が国のエネルギー政策の見直しが活発に議論されています。特に、原子力発電のあり方に関心が集まっていますが、私たちの生活や経済活動で消費されるエネルギーの用途は、電力の他に、輸送用燃料、給湯、暖房や工場の動力等があり、これら全エネルギーの約8割は化石エネルギーから生み出されています。20年後も最大の割合を占めると想定されている化石エネルギーは、分散型エネルギーとして緊急時対応力に優れていますが、一方で、そのほとんどを輸入に頼る我が国においては、CO2排出量削減とともに、供給安定性向上と調達コスト低減が大きなテーマです。

今回のシンポジウムでは、「20年後のエネルギー ～鍵を握る化石エネルギーの役割～」をテーマに、「産・学・官」各分野における専門家を招き、それぞれの視点から今後のエネルギーのあり方についてパネルディスカッションを行います。

本シンポジウムは、毎年、エネルギーに関する問題をテーマとして開催し、これまで大変多くの方にご好評をいただいております。17回目となる今回も多数の皆様のご来場をお待ち申し上げます。

記

1. 開催日時 : 2012年11月6日(火)
開場13時30分、開演14時00分、終了予定16時30分
2. 開催場所 : 東京国際フォーラム ホールC (東京都千代田区丸の内3-5-1)
3. テーマ : 「20年後のエネルギー ～鍵を握る化石エネルギーの役割～」
4. プログラム : (1) 主催者挨拶
木村 康 (当社代表取締役会長)
(2) パネルディスカッション
■パネリスト (50音順)
内田 幸雄 (石油連盟 常務会 代表幹事、当社取締役 副社長執行役員)
橋川 武郎 (一橋大学大学院 商学研究科教授)
高原 一郎 (経済産業省 資源エネルギー庁長官)
野神 隆之 (独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) 石油調査部 首席エコノミスト)
三神 万里子 (ジャーナリスト)
■コーディネーター
室山 哲也 (NHK解説主幹)
※出演者に関しましては、諸事情により変更になる場合があります。
5. 主催 : 「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」実行委員会
(一般財団法人日本エネルギー経済研究所、公益財団法人地球環境産業技術研究機構、JX日鉱日石エネルギー株式会社、株式会社NHKエンタープライズ)
6. 参加料 : 無料
7. 申込方法 : ウェブサイト (<http://www.energysymposium.jp>) からお申込いただけます。

以上